

令和 5・6 年度板橋区青少年問題協議会 専門部会の設置について（案）

1 目的

不登校問題は、子どもたちの社会的自立に重大な影響を及ぼすことが懸念される中、令和 4 年度青少年問題協議会において意見聴取を行ったところ、「個々の状況に応じた支援の必要性」や「居場所の確保の必要性」という課題が挙げられた。

これを踏まえ、令和 5・6 年度は「不登校の背景を的確に捉えた、多面的な支援の実現に向けて」をテーマとして審議していくこととした。

そのうえで、不登校の子どもたちやその家庭が抱える課題は個々により様々であることに加え、着目すべき課題は 1 つのみではなく複数の複雑に絡んでいることがあることを認識したうえで、子どもや家庭の置かれた状況に対し的確な支援を行うためのアプローチ手法、子どもたちが安心して過ごすことができる居場所の確保並びにその機能を強化する方法の検討を行うために、専門部会を設置する。

2 スケジュール

時期		内容
令和 5 年度	令和 5 年 10 月 30 日	第 1 回全体会 ▽現状における区の実践についての報告 ▽審議テーマに基づく意見交換及び課題の抽出 ▽専門部会の設置 ▼アプローチ手法検討部会 ▼居場所検討部会
	令和 6 年 2 月（予定）	第 1 回専門部会 ▽課題解決に向けての調査内容等検討
令和 6 年度	令和 6 年 6 月（予定）	第 2 回専門部会 ▽調査結果協議 ▽第 2 回全体会への報告内容の協議
	令和 6 年 8 月（予定）	第 2 回全体会 ▽専門部会協議結果報告 ▽審議テーマにおける方策について協議
	令和 6 年 11 月（予定）	第 3 回専門部会 ▽提言の骨子作成
	令和 7 年 2 月（予定）	第 3 回全体会 ▽審議テーマに基づく提言の決定

3 構 成

【アプローチ手法検討部会】

○平 戸 ル リ 子 委 員
○野 田 義 博 委 員
○星 野 由 紀 子 委 員
○中 道 精 司 委 員
○山 本 依 里 子 委 員
○清 水 正 隆 幹 事
○石 野 良 恵 幹 事

【居場所検討部会】

○児 美 川 孝 一 郎 委 員
○宮 澤 一 則 委 員
○中 里 真 一 委 員
○久 保 正 敏 委 員
○木 村 駿 委 員
○渡 辺 五 樹 幹 事
○氣 田 眞 由 美 幹 事
○太 田 弘 晃 幹 事

※オブザーバーに関してはその都度招集する

4 検討の取りまとめ

専門部会での意見及び検討内容を整理し、不登校の背景を的確に捉えた、多面的な支援の実現に向けた取組の方向性について全体会で報告したうえで、区に提言する。